

1 検討方法

大牟田校の基本計画策定にあたり、福岡県 PPP/PFI^{※1} 導入検討基本方針に基づき、従来型手法との定性的評価及び定量的評価（VFM 算定^{※2}）を行うなど、PPP/PFI 導入の適否について検討を行った。

※1 Public Private Partnership：公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。

Private Finance Initiative：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

※2 Value for Money：従来方式で事業を実施した場合と、PFI 方式で事業を実施した場合の公共の支払額の差。

2 検討結果

○ 定性的評価

高等技術専門校の建設にあたっては法令に定める訓練実習場や設備を備える必要があることから民間の自由提案を受け入れられる範囲が狭く、創意工夫の余地が乏しい。

また、民間による安定した訓練指導員の確保の困難性や県内7校で訓練水準を合わせて実施する必要があるため運営は委託になじまず、運営を除く維持管理や改修に限定して委託した場合は民間の創意工夫の余地が乏しく、民間ノウハウの活用が見込めない。

○ 定量的評価

VFM を算定した結果、VFM はマイナスとなり従来型手法と比べて事業費の削減効果は低く、PPP/PFI を導入することに大きな有利性は認められない。

○ 総合評価

以上のことから、PPP/PFI の導入は適さないとの民間事業者の意見を受け、PPP/PFI の導入は行わない。